

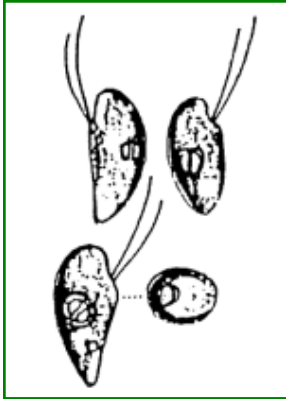
瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第46報 ～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年2月17日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

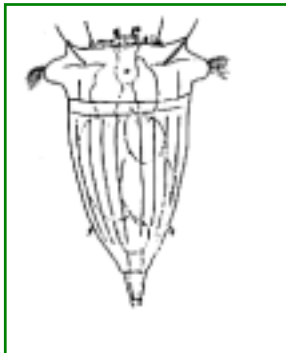
植物プランクトン第1優占種



Rhodomonas sp.
(ロードモナス)
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約10 μmと小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。
2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Synchaeta oblonga
(ナガマルドロウムシ)
輪虫類

体は円錐形で足は短く、先端の爪は微小である。体長は225～345 μm。体側は縦の条線があるのが特徴である。

コメント

植物プランクトンは、先週に引き続き褐色鞭毛藻に属するロードモナスが優占種となり、動物プランクトンも、ナガマルドロウムシが優占種となった。琵琶湖では、*Synchaeta stylata* (ドロウムシ)と最近多く観察される*Synchaeta oblonga* (ナガマルドロウムシ)の2種類が出現するが、夏から秋にかけてはドロウムシが多く、冬から春にかけてはナガマルドロウムシが多く観察されている。本2種の違いは、ドロウムシは足の部分が細長く三角錐状に伸びているが、ナガマルドロウムシは足が小さくて短いのが特徴である。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Synchaeta oblonga</i>	20

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲殻類	Nauplius	15

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年2月17日

第46報

(2) 植物プランクトン

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	10		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	10		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	60		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	55		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	10		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	15		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	200		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	220		
(み) <i>Trachelomonas oblonga</i>	10		
(み) <i>Trachelomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	20		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	20	2.9	1.7
(珪) 珪藻綱	200	29.4	27.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	420	61.8	68.1
(み) みどり虫藻綱	20	2.9	0.6
(緑) 緑藻綱	20	2.9	2.3
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	680	総体積 (μm^3)	5.54E+05
種類数	13		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各網ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。